

国家の黎明

令和5年11月28日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

国家の健全化がそれである。財政の健全化と社会の次世代基準における転換がそれであると考えるものである。

これらは政治の英断と決意において、これらが早急に求められるものである。

これら国家の健全化が、独自外交への転換とともに、日本国の崩壊を食い止められるのである。

他方においては、未来という新たな可能性が与えられるものである。改革の痛みは、唯一未来への正しい選択なのである。

これらは産業構造の転換と新たな貿易立国としての確立などを提案したいと考える。これらは政治における経済政策の完全な転換を求められるものである。

外交において、独自外交は、パワーゲームから、新しい世界の理想における外交へ転換し、自己の独立性の回復を求めることができるのである。

児童に対する健全な自己の育成は、教育の転換を求められるものである。競争という現実への参加でなく、全ての国民が、自らの目的において自己を有することは完全に相違するのである。

政治のリーダーシップは、国民との対話と理解の共有において、新しい未来を求めることができるのである。

極東アジアにおける平和と協力は、新たな世界への現実への参加を実現できるものである。

これらは政治と学者、経済人と官僚が新しい国家像を模索し、計画とともにその実現を行うことができるのである。

政治は必ず決定を有する。宰相の決定が唯一国家の決定なのである。